



ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

No.103
August 2020

応用地域学会ニュースレター

CONTENTS

1. 運営委員選挙の結果
2. 運営幹事等役員の選任
3. 第34回研究発表大会のご案内
4. 2020年度坂下賞候補者の推薦について
5. 2020 Asian Conference in Regional Science
(第10回アジア地域科学セミナー)のご案内
6. 「応用地域学研究」への投稿論文の募集
7. 2019年度学会決算(概要)
8. 2020年度第1回運営委員会報告(概要)
9. 事務局だより

1. 運営委員選挙の結果

選挙管理委員 猪原 龍介(亜細亜大学)
宮川 雅至(山梨大学)

2020-2021 年度 ARSC 運営委員選挙は、2020 年 3 月 21 日締め切りで実施されました。開票集計は、3 月 25 日に選挙管理委員と事務局で行われました。結果、以下の 20 名の方々が選出され、2020 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日までの 2 年の任期で運営委員に就任されましたのでご報告いたします。

応用地域学会 2020～2021 年度運営委員

東地区(11 名)：

赤松 隆(東北大学)，石倉 智樹(東京都立大学)，河野 達仁(東北大学)，中島 賢太郎(一橋大学)，直井 道生(慶應義塾大学)，小川 光(東京大学)，佐藤 泰裕(東京大学)，瀬古 美喜(武蔵野大学)，高橋 孝明(東京大学)，堤 盛人(筑波大学)，曾 道智(東北大学)，以上 11 名

西地区(9 名)：

浜口 伸明(神戸大学)，亀山 嘉大(佐賀大学)，森 知也(京都大学)，文 世一(京都大学)，内藤 徹(同志社大学)，織田澤 利守(神戸大学)，瀬谷 創(神戸大学)，高塚 創(大阪市立大学)，高山 雄貴(金沢大学)，以上 9 名

(敬称略，アルファベット順)

2. 運営幹事等役員の選任

ARSC 事務局

新しい運営委員のもと、運営委員会が2020年7月30日（オンライン）に開催され、以下のように2020年度の運営幹事等の役員、委員会委員等が選任、又は任命されました。（下線が今回の新任、敬称略・順不同）

2020 年度 ARSC 役員等

○運営幹事（規程無）

- ・事務局業務の幹事業務を担う。

<2020・2021>

総務（会員の入退会）	<u>石倉 智樹（東京都立大学）</u>
会計（決算，予算）	<u>亀山 嘉大（佐賀大学）</u>
渉外（ニュースレター）	<u>内藤 徹（同志社大学）</u>

○監査委員（会則第9条3項）

- ・運営委員会が個人会員の中から委嘱する（2名）。（任期の規程無）

<2019・2020>

米本 清（高崎経済大学）
田村 一軌（アジア成長研究所）

○選挙管理委員（選挙内規第3条）

- ・会長が指名する（2名）。（任期の規程無）

<2019・2020>

猪原 龍介（亜細亜大学）
宮川 雅至（山梨大学）

○大会プログラム委員会（規程無）

- ・運営委員会が選出し、委員長を指名する。（開催大学・委員長の意向により委員の増減あり）

<2020年度(オンライン開催)>

委員長 河野 達仁（東北大学）
委員 石倉 智樹（東京都立大学），岡本 千草（立教大学），田村 一軌（アジア成長研究所）
藤原 直哉（東北大学），宮川 雅至（山梨大学），米本 清（高崎経済大学）

○坂下賞選考委員会（2004 年度～）

<坂下賞選考規程> [選考委員会] 第5条：運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。委員長は、5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。[選考委員の任期] 第6条：運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

<2020年度坂下賞選考委員会委員>

委員長 松島 格也 (京都大学 3年目)

委員 森 知也 (京都大学 2年目), 佐藤 泰裕 (東京大学 1年目)

大澤 義明 (ARSC会長), 奥村 誠 (ARSC副会長)

○応用地域学会論文賞 (Best Paper Award of ARSC) 選考委員会

<応用地域学会論文賞選考規程>

[選考委員会] 第5条：運営委員会によって選出された3名の委員と会長及び副会長の5名によって構成される。

委員長は5名の中から運営委員会によって指名された者が当たる。

[選考委員の任期] 第6条：運営委員会によって選出された3名の委員の任期は3年とし、連続して2期務めることは出来ない。これらの委員は、毎年1人が新任となり、1人が退任する。会長及び副会長については、その在任期間を任期とする。

<2020 度選考委員会>

委員長 浅田 義久 (日本大学 3年目)

委員 城所 幸弘 (政策研究大学院大学 2年目), 赤松 隆 (東北大学 1年目)

大澤 義明 (ARSC 会長), 奥村 誠 (ARSC 副会長)

3. 第34回研究発表大会のご案内

第34回研究発表大会実行委員長 奥村 誠 (東北大学)

2020年度大会は、下記の要領のもと、オンラインで開催いたします。意欲的な論文の発表と活発な討論を期待しております。会員の皆様に奮ってご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

(1)大会概要

- ① 期 日 2020年11月28日(土), 29日(日)
(総会は11月28日(土))
- ② 会 場 オンライン (Online urlは大会が近づきましたら、お知らせします。)
- ③ 大会ホームページ: <https://sites.google.com/view/arsc2020>
- ④ 大会参加費: 無料 (ただし、大会参加は正会員または学生会員のみ認められます。)

* 今大会の申し込みはGoogleフォームから入力する形式になっています。大会ホームページをから、メールアドレスと会員番号を用いて「参加申し込みフォーム」に移動し、

(<https://sites.google.com/view/arsc2020/registration/form>) に必要事項の入力をしていただきます。

ご不明な点がございましたら、第34回研究発表大会事務局 (E-mail: arsc2020online@gmail.com) へご連絡ください。

(2) セッション構成

- ・研究発表大会では、下記セッションを開催いたします。

一般 セッション	<p>・幅広い論題でのセッションです。広くは地域、都市、交通、環境、国際に関する諸問題が対象になりますが、広い意味でこれらの問題と関係する研究報告を歓迎しております。参考として下記のキーワードを挙げておきますが、これらに縛られることなく、ARSCにとって関連ある論題を積極的にご報告ください。</p> <p>《キーワード》成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画、都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政、都市交通、混雑税、交通需要マネジメント（TDM）、航空・港湾、投資評価、物流、通信、影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災、開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税</p>
Early Bird セッション	<p>・博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍中の学生会員が報告するセッションです。</p> <p>・単著論文に限らず、ARSCの将来を担う若手研究者が主体的に取り組んだ研究報告を期待します。なお、本セッションに限り、共著者による代理報告は認められません。</p>
特定 セッション	<p>・特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編から構成されます（これまでに「新しい産官学連携のあり方ー筑波大学での革新的取り組みー」、「沖縄県の経済振興を考える」、「少子高齢社会の社会保障・教育・環境」、「交通混雑緩和と料金政策」、「知識の創造・伝搬と集積の経済」、「人口経済学的アプローチ」などの特定セッションが組み込まれました）。</p>
シンクタンク・セッション	<p>・ARSCは、会員による研究成果を実務へ活用するとともに、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介するという双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。</p> <p>・このセッションは、会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起をもとに構成されます。</p> <p>・賛助会員の方々をはじめ、実務関係者の方々からの企画提案をお待ちしております。</p>

(3) 「一般セッション」と「Early Bird セッション」の発表申し込み

① 発表者の条件 **ARSC会員であること**

※非会員の場合は発表申込までに入会手続きを行ってください。

② 発表申込期限 **2020年9月15日（火）必着**

③ 発表申込み（申し込み方法、申し込み先）

前項（1）で述べましたように、今大会では、大会ホームページ内の「参加申し込みフォーム（<https://sites.google.com/view/arsc2020/registration/form>）」をご使用いただき、下記にあるa～hの各項目を入力して発表申し込みをしてください。

a.発表者氏名・所属

b.連名者氏名・所属

c.発表者のE-mailアドレスと会員番号（入会申請中の方は「0000」で対応）

d.発表題目（和・英のいずれか）

e.要旨（和文200字、英文100語程度。いずれかを記載）

f.発表時の使用言語（日本語または英語）

g.希望討論者（候補者2名まで）

※希望討論者は最低限1名を必ずご記入下さい。候補者の方に事前に打診される必要はありません。プログラム編成や討論者のご都合によってはご希望に添えないことがあります。あらかじめご了承ください。

h.発表区分（「一般セッション」「Early Bird セッション」「特定セッション」

「シンクタンク・セッション」の区分を記入。次項(4)を参照）

※第33回佐賀大会から「最優秀学生論文賞」を創設しました。Early Birdセッション発表論文のうち、学生あるいは学生のみでの連名による論文が審査対象になります。詳細は、大会ホームページ内の最優秀学生論文賞の要項をご覧ください。

(4)「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」の企画の募集と発表申し込み

・「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」については、広く会員各位からの企画提案を募集しています。

・**2020年9月15日（火）までに企画提案をお送りください。**「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」の発表申し込みに関し、大会ホームページ内の「参加申し込みフォーム

（<https://sites.google.com/view/arsc2020/registration/form>）に加えて、ワード自由書式による申し込みも可能とします。ただし、前項(3)③で挙げた項目を参考に、「特定セッション」や「シンクタンク・セッション」の全体像が分かるようにして申し込みください。ワード自由書式で申し込む場合、第34回研究発表大会事務局・兼プログラム委員会（E-mail：arsc2020online@gmail.com）までお送りください。

*メールの件名は「arsc特定 申込(申込者氏名)」または、「arscシンクタンク 申込(申込者氏名)」として下さい。

(5)今後の予定

① 大会プログラム

・10月21日（水）を目途に確定し、大会ホームページとニュースレターを通じてお知らせいたします。

② 発表原稿

・最終の発表原稿を11月13日（金）までに座長、討論者、大会事務局の3か所にそれぞれ個別にお送りください。

*E-mailに添付して送られる場合は、必ずPDF形式にしてください。

*大会事務局宛てのメールの件名は「arsc発表論文(名前)」として下さい。

*論文のファイル名は「arsc発表論文(名前).pdf」として下さい。

（例 arsc発表論文(鈴木一朗)など）

*座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会事務局にお問い合わせください。

・大会事務局に論文をPDFで送付していただければ、大会HPに報告論文をアップロードします。

（アップロードの期間は本年中と限定します。）アップロードを希望しない場合は、メールにその旨を明記してください。

③ 発表者の準備

・発表に際して利用するカメラ付きパソコン等をご用意ください。

(6) 2020 年大会実行組織（敬称略）

オンライン 大会実行委員会	委員長 奥村誠（東北大，応用地域学会副会長） 委員 亀山嘉大（佐賀大），小林隆史（立正大）， 堤盛人（筑波大），内藤徹（同志社大）
プログラム委員会	委員長 河野達仁（東北大） 委員 石倉智樹（東京都立大），岡本千草（立教大）， 田村一軌（アジア成長研究所），藤原直哉（東北大）， 宮川雅至（山梨大），米本清（高崎経済大）
オンライン大会事務局・ お問い合わせ	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 S-502 奥村研究室 電話: 022-752-2161 E-mail: arsc2020online@gmail.com

4. 2020 年度坂下賞候補者の推薦（候補者を公募します）

坂下賞選考委員会委員長 松島 格也（京都大学）

応用地域学会では、日本における地域科学の研究を発展させ、当学会を地域科学研究の世界的拠点にする視点に立ち、若い研究者を奨励することを目的として、毎年1名の方に『坂下賞』を授与しております。

対象者は、応用地域学会の会員かつ2020年12月31日に満40歳以下の方で、地域科学の理論的研究、実証的研究及び政策的研究のいずれか（あるいは複数の領域）で大きな貢献をなし、現在もなお継続的に研究活動を行っていることが条件となります。

2011年度から一般会員からの推薦も含めて選考することとなりましたので、奮ってご推薦下さい。

<募集要領>

推薦資格：応用地域学会員であること

推薦者数：原則として被推薦者（候補者）1名につき、推薦者1名（自薦も可）

応募書類：推薦書（A4一枚：推薦書様式参照）および業績リスト（様式は任意）

締 切：2020年10月1日(木) 17時

(必着: 事務局からの返信を確認してください)

宛 先：下記，ARSC事務局宛にPDFあるいはMS-Wordのファイルをメール添付で送付してください。

E-mail: clerk@arsc.org

なお、推薦された候補者は、坂下賞選考委員会で委員会推薦の候補者と併せて審議され、受賞者が決定されます。応用地域学会総会(2020年11月28日予定)にて、受賞者を発表・表彰いたします。

<2020年度坂下賞選考委員会委員>

委員長	松島 格也	(京都大学)
委員	森 知也	(京都大学)
委員	佐藤 泰裕	(東京大学)
委員	大澤 義明	(ARSC会長)
委員	奥村 誠	(ARSC副会長)

5. 2020 Asian Conference in Regional Science

(第10回アジア地域科学セミナー)のご案内

大会実行委員長 堤盛人(筑波大学)

アジア地域科学セミナーは、アジア諸国における地域科学の研究発展と交流を促進するために、応用地域学会(ARSC)、台湾地域学会(CRSA)、中国地域学会(RSAC)、韓国地域学会(KRSA)が共催して行い、第2回より、各国持ち回り開催となっております。

第10回となる今年は、2020 Asian Conference in Regional Scienceとして、筑波大学を幹事校として応用地域学会の主催でつくば国際会議場における開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催日程を縮小の上、オンラインによる開催に変更いたします。

詳細は下記のホームページをご覧ください。

2020 ACRS ホームページ: <http://sp.sk.tsukuba.ac.jp/ACRS/index.html>

2020 Asian Conference in Regional Science 開催概要

- *日程: 2020年10月10日(土)~11日(日)
- *場所: オンラインによる開催(Zoomを予定)
- *参加登録: 上記HPにて9月初旬より予定(参加費無料)

*お問い合わせ

実行委員会アドレス: acrs2020@sk.tsukuba.ac.jp

6. 「応用地域学研究」への投稿論文の募集

「応用地域学研究」編集委員長 堤盛人(筑波大学)

「応用地域学研究」編集委員会では論文投稿を随時受け付けております。投稿論文は編集委員会の指名する複数の査読者により査読が行われます。奮ってご投稿下さい。(http://www.arisc.org/をご参照ください。)

理論から実証まで幅広い研究論文をお待ちしております。様々な地域課題に関する問題解決型研究などの適時性に優れた論文のご投稿や、若い研究者によるご投稿も歓迎します。

1. 論文投稿の際、論文はできるだけ MS-Word 形式のファイルを電子メールの添付ファイルでお送り下さい。宛先は、編集委員長です（e-mail：journal@arsc.org）。PDF ファイルでも結構ですが、印刷時の編集の都合で最終原稿は MS-Word 形式でお願いすることがあります。
2. 受付の確認を電子メールで送付いたします。投稿後 1 週間を過ぎても連絡が無い場合は、以下の連絡先までお問い合わせ下さい。
3. 掲載論文の著作権は学会に帰属します。掲載論文は J-STAGE にて公開します。

『応用地域学研究』に関する お問い合わせ先

応用地域学研究編集委員長 堤 盛人

〒305-8573 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学システム情報系 社会工学域
TEL: 029(853)5007 E-Mail: journal@arsc.org

7. 2019 年度決算(概要)

会計担当運営幹事 亀山 嘉大 (佐賀大学)

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)学会決算(概要)案を以下のとおりご報告いたします。本決算結果は、監査委員による監査後、本年度大会での総会にて会員の皆様への報告がなされ、審議される予定です。なお監査委員は、昨年から引き続き、米本清(高崎経済大学)及び田村一軌(アジア成長研究所)の両先生です。(詳細の報告は、監査終了後、総会承認後のニュースレターに掲載します。)

2019年度は約13万円の赤字となり、繰越金は約262万となりました。これは事務局移行に伴う一時的な支出があったこと、2020 Asian Conference in Regional Science(第10回アジア地域科学セミナー)の準備金を2019年度内に支払ったことなどが主な要因です。しかし、2018年度は約96万円の赤字であったため、状況は改善していると考えられます。2020年度はRURDS刊行・購読費が不要になるほか、『応用地域学研究』のJ-Stage移行により年報刊行費も減少するため、今年度以降で黒字に転じるのではないかと予想されます。引き続き運営委員会では、会員の皆さまにとって有意義な学会運営となることを目指し検討を続けていくとともに、賛助会員の確保や会員増に努めてまいります。

収 入		支 出	
繰越金	275 (371)	RURDS 購読	248 (313)
会費 (国内, 国際, 賛助)	468 (412)	「応用地域学研究」刊行	57 (54)
その他 (雑誌販売等)	3 (2)	大会開催補助	27 (△8)
		国際会費	19 (20)
		事務費, その他	133(131)
収入合計	746 (785)	支出合計	484(510)
(繰越金を除く収入計)	471 (414)	繰越金	262(275)

8. 2020 年度第 1 回運営委員会報告 (概要)

ARSC 事務局

2020 年度第 1 回運営委員会が 7 月 30 日(木)に行われました。議事録等の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

議事要旨

1. 運営委員選挙結果報告 (前掲)
2. 2019 年度決算と課題
 - * 2019 年度決算概要について報告された。(前掲)
3. 運営幹事等役員の選任(2020 年度選任)
 - * 2020 年度に新規の選任となる, 運営幹事 (総務, 会計, 渉外), 坂下賞選考委員会 (委員長・委員), 応用地域学会論文賞選考委員会 (委員長・委員) の各委員長・委員を選出した。
 - * (2020 年度役員一覧は前掲)
4. 2020 年度坂下賞の選考 (前掲)
 - * 例年どおりに, 受賞候補者の自薦他薦を含めた推薦を公募する (ニュースレターとホームページで公募を開始) ことが確認された。
5. 2020 年度応用地域学会論文賞の選考について
 - * 例年どおりに選考委員会で受賞論文を選考することが確認された。
6. 2020 年度研究発表大会 (オンライン) の開催 (前掲)
 - * 新型コロナウイルス感染拡大の影響により, 今年度大会はオンライン開催に決定した。
 - * 参加費は無料だが, 基本的に学会員のみ限定する。
 - * 申し込み期限は昨年度と同様に 9 月中旬に設定する。

7. 2020 年度 第 10 回アジア地域科学セミナーの開催について

* 堤実行委員長より、日程の変更、オンラインへの切り替え、論文発表応募状況について報告があった。

・日時：2020 年 10 月 9 日(金)～11 日(日) →10 月 10 日(土)～11 日(日)

・開催地：つくば国際会議場→Zoom によるオンライン開催

* オンライン開催に伴う予算の変更についても報告、承認された。

8. 『応用地域学研究』の編集状況及び今後の方針

* 編集委員長 堤盛人先生より、No.23 を 2020 年 6 月に J-Stage で公開したという報告と、現在の査読状況についての報告がなされた。

* J-Stage 移行の経緯について報告された。

* 巻号の付け方を、継続性を重視して 2019 巻 23 号として発行し、次号は 2020 巻 24 号となることが報告された。

9. その他

* 年会費の自動振替制度について議論された。

9. 事務局だより



ARSC 事務局

ARSC 会員現勢

2020 年 8 月 15 日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 471 名(内、一般会員 415 名、学生会員 52 名、海外会員 4 名)

賛助会員 5 団体(総口数 7 口)。

事務局からのお願い

◆ 会員の皆様の登録情報は、メール連絡やジャーナル等の送付に重要な情報となっています。変更があった場合は、会員ページ (<https://service.kktcs.co.jp/smms2/loginmember/arsc>) にログインし、速やかに登録情報の変更をお願いいたします。

◆ 地域科学関連分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲におられましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。新規会員の入会申込は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org/>)の「入会手続き」より行えます。入会に関するお問い合わせは、ARSC 事務局でメール (clerk@arsc.org) 対応いたします。

◆ 事務局やニュースレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、是非、お知らせください。

新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックで世界中で生活様式が一変しました。その混乱の中、今年も豪雨により熊本県をはじめとし各地域で大きな被害を受けました。被災された方にはお見舞い申し上げます。

また大学では対面講義に代わりオンライン講義に切り替わり、キャンパスから人影が消えてしまいました。多くの学会がオンライン開催となり、新たなあり方に試行錯誤しております。先行きが見通せない中、本学会もこの局面に何某かの貢献をすることが期待されております。これからさらに厳しい局面を迎える可能性もございます。

会員の皆様に於かれましては、くれぐれもお身体をご自愛の上、お過ごし下さいませ。（TN）

ARSC NEWS No.103 （2020年8月発行）

発行元 応用地域学会事務局（文部科学省学会コード=10023）

会長: 大澤 義明

ARSC NEWS 担当: 奥村 誠（副会長）／ 内藤 徹（渉外担当幹事）／ 光井 明日香（事務局）

〒162-0805 東京都新宿区矢来町 126 NITTO ビル (株)メッツ研究所内

TEL: 03 (5227) 7804 / FAX: 03 (5227) 7807

Email: clerk@arsc.org / 学会 HP: <http://www.arsc.org/jp/>